

# デジタル教科書指導案／地理的分野

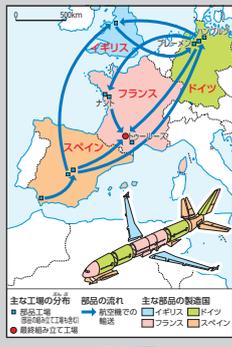
1. 題材 p.76-77 ヨーロッパの工業と EU の影響
2. 目標 (1) ヨーロッパ州の工業の特色と、EU の統合が工業にもたらした影響と課題を理解できる。  
(2) EU 加盟後に東ヨーロッパでみられる変化を資料から読み取り、その背景が考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ヨーロッパ州の工業の特色を、歴史的背景と EU 統合による変化も踏まえて理解している。
思考・判断・表現	・ヨーロッパ州の工業に EU 統合がもたらした影響をとらえ、それぞれの地域で起こっている変化について考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・ヨーロッパ州の工業に関心を持ち、EU との関わりから積極的に特色をとらえようとしている。

## 4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	<p>1. 「航空機の部品を専用貨物機に積み込む様子」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. ヨーロッパの主要国の工業生産額の内訳の変化の資料を見ながら、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.76 1</p> <p>何をしている様子だろうか。</p>  <p>「主要国の工業生産の内訳の変化」</p> <p>ヨーロッパの国々の工業の特色を読み取ろう。</p>	<p>○ 「航空機の部品を専用貨物機に積み込む様子」写真を題材にし、何をしているところか、どこへ運んでいくのかを考えさせながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ ヨーロッパの多くの国は機械工業の占める割合が大きく、東ヨーロッパでは EU 加盟後に工業生産額が増加している国が多いことに気付かせる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>
展開	<p>3. ヨーロッパ州の工業の特色を理解する。</p> <p>(1) 工業地域の移り変わり</p>	 <p>p.77 3</p> <p>ヨーロッパの工業地域の分布の特色を考えよう。</p>	<p>○ ヨーロッパの各工業地域が発達した背景を、中心となる工業の移り変わりとともに理解させる。</p> <p>◆ 主題図からそれぞれの工業の分布に特色があることを読み取らせる。</p>
	<p>学習課題：ヨーロッパの工業にはどのような特色があり、EU の統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。</p>		

(2) EU 統合による  
発展



国際分業の仕組み

▶ 「国際分業の仕組み」

p.76 2

多くの航空機をどのように製造しているのだろうか。



p.77 6



▶ 「主な国に進出した日系企業数の変化」

グラフにある国々を地図帳で確認し、日系企業が東ヨーロッパへ進出している理由を考えてみよう。

展  
開

4. EU の拡大により、東ヨーロッパの工業が変化していることを理解する。

○ EU 内で関税がかからないことを生かして国際分業を進めることで、アメリカ合衆国のボーイング社と同等の航空機の生産を実現していることを理解させる。

◆ EU 内では関税がないため国際分業がしやすいことを理解させる。

○ 資料から、東ヨーロッパの国々に工場が増えていることを読み取らせ、その背景を考察させる。

◆ 賃金が安いいため、西ヨーロッパから工場が移転していることに気付かせ、その背景には EU の拡大があることを考察させる。

整  
理

5. 本時のまとめをする。

EU の統合により、ヨーロッパの工業には、どのような変化が生じたのか、説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 西ヨーロッパの国では国際分業が活発になり、東ヨーロッパの国では工場が増えたなどの変化を EU 統合の観点から説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。